

■ 指定管理者制度導入施設 年度評価シート ■

評価年度	令和6年度
------	-------

1 基本情報

公の施設名	相模原市立男女共同参画推進センター（ソレイユさがみ）
指定管理者名	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
施設設置条例	相模原市立男女共同参画推進センター条例
施設の設置目的	女性を取り巻く諸問題の解決及び男女共同参画社会の実現を図るため (相模原市立男女共同参画推進センター条例第2条)
施設概要	(1) 所在地 相模原市緑区橋本6-2-1 (シティ・プラザはしもと内) (2) 施設規模 シティ・プラザはしもと 5,090㎡のうち、相模原市立男女共同参画推進センター 1,509㎡ (3) 主な施設 セミナールーム1～6、情報コーナー、であいの広場等
施設所管課	市民局 人権・男女共同参画課

2 管理実績

項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
利用者数合計(人)	43,003	51,221	56,448				
使用料合計(円)	7,077,955	7,171,743	7,920,646				
貸館率(%)	65.7	63.3	70.0				
講座等参加者数(人)	4,028	6,809	8,324				

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
B	<p>≪評価理由≫ 施設の設置目的である「女性を取り巻く諸問題の解決及び男女共同参画社会の実現」に向けた取組を進めている。 指標1の施設の貸館率は、目標値に達しなかったものの、昨年度から約6.7ポイント上昇した。「達成度が80%以上～90%未満」であることから評価は「C」相当である。 指標2の講座等参加者の男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合は、昨年度から約6.3ポイント上昇し、目標値を上回っており、「達成度が100%以上～125%未満」のため、評価は「A」相当である。これら2つの指標の総合判断し、「B」と評価した。</p> <p>≪委員会意見≫ 指標1については目標達成できていないものの、新規参加者の呼び込みを図りながら着実に参加者数を伸ばしている。指標2については目標を達成しており、2つの指標の総合判断として「B」が妥当である。</p>

指標1	
指標名(単位)	施設の貸館率(%)
指標式と指標の説明	(1) 指標式：施設の利用回数／施設の利用可能回数×100 (2) 指標の説明：当該施設の活用が十分図られているかを見る指標

項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値(%)	78.0	78.0	78.0				
実績値(%)	65.7	63.3	70.0				
達成度(%)	84.2%	81.2%	89.7%				

指標2	
指標名(単位)	男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合(%)
指標式と指標の説明	<p>(1) 指標式：講座等の参加者アンケートにおいて、以下のすべての質問に肯定的な回答をした人数 / アンケートの総回答人数 × 100</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座等に参加して、男女共同参画に関する理解が深まったか (⇒「大変深まった」もしくは「深まった」と回答した人数) ・講座等で得たことを、家庭・職場・地域等で活かそうと思ったか (⇒「はい」と回答した人数) <p>(2) 指標の説明：講座等参加者における男女共同参画意識の高揚及び家庭・職場・地域等への男女共同参画の推進を見る指標。</p>

項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値(%)	70.0	70.0	85.0				
実績値(%)	79.7	78.8	85.1				
達成度(%)	113.9%	112.6%	100.1%				

4 事業の実施状況

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
A	<p>《評価理由》 講座、講演会等や男女共同参画推進週間に関連した事業の実施回数及び参加者数が安定して増加していることに加え、男女共同参画意識の高揚に繋がったと考えられる人の割合が増加していること、また、自主事業において、参加者数が前年度より増加したこと等を評価した結果、「達成度が100%以上125%未満」となるため、「A」とした。 また、市民企画セミナーの開催等を通じて、施設と市民の双方向の意見を取り入れた企画の実施を継続して行っていることについても評価する。 一方で、高齢化等により登録団体が減少傾向にあるため、インターンシップ実習生等、若年層の意見を積極的に取り入れていることを生かし、若年層への啓発や活動への参加促進に取り組み、登録団体の増加や持続可能な事業実施を見据えた体制の構築に取り組んでほしい。</p> <p>《委員会意見》 限られた予算の中で事業を行い、参加者増加につなげている努力が見受けられる。 登録団体の減少と高齢化は課題事項であるので、「若年層」や「男性」等新規利用者層の獲得の取組は、受託ではなく意識的に行って欲しい。 若年層へのアプローチは、オンライン講座や配信等も検討するとよい。また、インターンシップ実習生の更なる活用とともに、学校等へは積極的な呼びかけをしてほしい。 男性へのアプローチとして、家事参加の促進のほか、性別に対する固定的な役割分担の意識から、生きづらさを抱えている男性もいると思われるので、そのような視点もあるとよい。</p>

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
男女共同参画の普及啓発のための講座、講演会等の企画運営	通年	<p>「第3次さがみはら男女共同参画プラン」に基づき、性別にかかわらず、すべての個人が互いに人権を尊重し、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を目指し、講座等の企画・運営を行った。また、大学2校からインターンシップ生等4名を受け入れ、4か月～7か月間実習を行うとともに出前講座でデートDVや多様な性に関する事業を実施した。また近隣の専門学校2校とSDGsとジェンダー平等の連携事業を実施したほか、市内中学校への出前講座なども行い、若年層へ男女共同参画意識啓発活動を推進しました。</p> <p>■実施事業数：62本 (R5：61本<前年度比：102%>) ■講座等回数：183回 (R5：160回<前年度比：114%>) ■総参加者数：8,324人 (R5：6,724人<前年度比：124%>) ■参加率：83.5% (R5：78.6%<前年度比：106%>) ■男女共同参画意識の高揚に繋がったと考えられる人の割合：85.1% (R5：78.8%<前年度比：108%>)</p>	◎
市が定める男女共同参画推進週間に関連した、男女共同参画意識の普及高揚を図ることを目的とした事業	6月15日(土)～6月30日(日)	<p>多くの市民が男女共同参画について考える機会となるように、またソレイユさがみを広く周知するため、市が定めるさがみはら男女共同参画推進週間(6月22日～30日)に合わせてソレイユフェスタを開催し、さがみはらいきいきフォーラムをはじめ、パネルディスカッションやセミナー、パネル展示などを行った。</p> <p>■実施事業数：16本(前年度：11本<前年度比：145%>) ■講座等回数：17回(前年度：13回<前年度比：138%>) ■総参加者数：1,556人(前年度：776人<前年度比：201%>) ■参加率：89.7%(前年度：78.5%<前年度比：114%>)</p>	◎

近隣大学等との連携	通年	<ul style="list-style-type: none"> ■インターンシップ生を受入れ、セミナー等開催時にスタッフとしての体験や各委員会に参画した。また、インターンシップ生が中心になり、それぞれの大学に出前講座を実施した。 桜美林大学から3名(4か月間) 和光大学から1名(7か月間) ■SDGs×ジェンダー平等についての連携事業を実施 神奈川経済専門学校・相模原ビジネス公務員専門学校 ■小中学校への意識啓発出前講座1校 LGBTQの理解 ■中学生の施設見学と男女共同参画について意見交換1校 	○
情報コーナーの運営	通年	<p>男女共同参画に関する基本的な資料の収集や課題解決に役立つ実践的な内容の資料の収集、新着図書やおすすめ図書の紹介を行った。また意識啓発を図るための気づきの機能の充実を図るとともに専門情報コーナーとして、利用促進、資料の活用にも努めるため、テーマに合わせ企画展等を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■情報コーナーの利用 蔵書数：7,088冊(前年度：6,977冊<前年度比：102%>) 行政資料：2,123点(前年度：2,104点<前年度比：101%>) 利用者数：1,050人(前年度：1,099人<前年度比：96%>) 貸出図書：2,119冊(前年度：2,368冊<前年度比：89%>) ■情報コーナーの企画展示4回 (R6:5月・8月・11月・R7:2月) 	○
であいの広場におけるパネル展示	通年	<p>身近な暮らしや社会に潜むジェンダーに関する様々な問題を取り上げた「LGBTってなに？」パネル展示や「男女共同参画フォトコンテスト2024」入賞作品等の展示を通して、広く男女共同参画社会の実現への啓発を行った。</p> <p>また情報コーナーにおいて「LGBTを学ぶジェンダーアイデンティティ(性自認)の多様性を理解する」や「人生100年時代 年齢にとらわれず楽しいことに挑戦・体験してみよう」等の啓発掲示を行い市民の男女共同参画に関する「気づき」を促した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■パネル展示：3回(R6:6月2件 R7:2月) ■情報コーナー啓発展示：4回(再掲) (R6:5月・8月・11月 R7:2月) 	○
その他男女共同参画に関する各種情報の収集と提供	通年	<p>ソレイユさがみの活動内容や男女共同参画に関する啓発情報を発信するとともに、ブックレビューを発行し、新着図書やおすすめ図書の紹介を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ホームページでの発信 令和6年度アクセス数：30,251件 ■ソレイユニュースレターの発行 (1,000部×4回 4月・7月・10月・R7:1月) ■ソレイユブックレビューの発行 (850部×年6回 奇数月) ■情報コーナーの企画展示4回(再掲) (R6:5月・8月・11月・R7:2月) 	○
登録団体に関する事務(承認、取消、活動支援等)、登録団体連絡会の開催	通年	<p>男女共同参画社会の実現を図ることを目的に活動する市民・団体等の相談・支援を随時行った。各登録団体の活動内容の報告や男女共同参画に関する情報の共有等を行う登録団体連絡会については、令和7年3月15日(土)に開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■新規登録団体数：6団体(前年度：4団体<+2>) ■登録を廃止した団体数：8団体(前年度：13団体<+5>) ■団体登録数(R6年度未現在)：83団体(R5年度未85団体<-2>) ■登録団体連絡会開催数：1回 	○
市民企画セミナーの開催	通年	<p>男女共同参画社会の実現を目指したセミナー・講演会等の企画、実施を希望する団体やグループに講師謝金を助成するとともに、会場の提供や運営支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■市民企画セミナー実施：2団体(3回) ■市民企画セミナー相談支援：1回 電話やメールでの相談は別途対応した。 	○
その他であいの広場や共有スペースを活用した支援事業の実施	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・「ミニギャラリー」 であいの広場に、登録団体や市民団体等の作品(絵画や写真等)を展示する「ミニギャラリー」を設置し、市民活動の支援を行った。 展示団体数：10団体(ソレイユさがみ情報委員会含む。) (前年度：7団体<+3>) 展示回数：13回(前年度：11回<+2>) ・「登録団体お知らせコーナー」 各団体の活動内容の掲示や配架を行い登録団体の活動支援を行った。 ・「女性の起業・就労資料コーナー」 パンフレットや冊子などを配架し情報提供を行った。 	○

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
ソレイユマルシェ	展示：通年 販売：毎月1回 (6月は2回)	<p>女性の起業・男性地域参画応援事業として、であいの広場に設置した展示棚を貸し出し、ハンドメイド作品の展示の場を提供するとともに、ソレイユマルシェを毎月1回開催し、販売やワークショップの場を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■出店者：延べ392店舗(うち男性延べ5店舗) ■総参加者数：4,835人(女性4,591人、男性244人) ■ソレイユマルシェからの循環型サポート事業 ・ソレイユマルシェワークショップ(11回開催) マルシェに6回以上出店実績のある作家が講師となり、市民向けにワークショップを行う事業で、企画から開催まで職員がノウハウを支援した。 ・地域×ハンドメイド作家紹介 ワークショップ開催実績のある作家を、公民館に講師として活用していただくよう、チラシ等で地域へ紹介し、活躍の場を拡大した。 	○

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	<p>≪評価理由≫ 講座等参加者の満足度について、「目標値に対する達成度が100%以上110%未満」となるため、「A」と評価した。 その他の取組に記載の「お客様の声」や「利用記録用紙」等の施設利用者から寄せられた利用者ニーズに独自に応えた点や、ホームページを活用し、講座の受付状況等迅速な情報提供を行っている点等も利用差満足度に繋がる取組である。</p> <p>≪委員会意見≫ 全体評価、スタッフ対応、講師に対する満足度のアンケート結果が総じて高い点を評価する。環境改善については指定管理業務内では限度があるため、今後も講座の充実を主軸とした事業運営を期待する。</p>

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	講座等の参加者に対してアンケート調査を実施 / 時期：通年 / サンプル数：926件（講師に関する設問のみ709件）
目標値の基準	講座等に対する全体評価、スタッフ対応、講師、環境について尋ねる各設問において、「大変満足」及び「満足」の割合の平均：90%以上

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（%）	90.0	90.0	90.0				
実績値（%）	94.4	92.1	90.8				
達成度（%）	104.9%	102.3%	100.9%				

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
お客様の声	通年	正面入り口前に回収箱を設置し、センター利用に係る意見・感想を求めるとともに、寄せられた意見等に対する回答や対応状況を掲出し、利用者に周知した。
利用記録用紙	通年	セミナールームやであいの広場利用者に対し、利用内容、利用人数等のほか、施設への意見や要望等を記載していただき、運営管理に役立てた。 特に、コミュニティゾーンやスタディゾーン等、であいのひろばに関して、照明が暗いという意見を多く受けたことから、照明器具を新たに設置し、利用者から感謝の言葉をいただいた。
ホームページ投稿通知メールフォーム	通年	「お問い合わせフォーム」により受け付けた貸館や事業等についての問い合わせに対して、迅速に返信し利用者の理解を深めた。 また、講座の応募状況を確認し定員に達した時の告知等迅速に対応した。

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	<p>《評価理由》 施設の収支状況において、「本体事業収支、全体収支ともに黒字」を維持していること、「団体本体の経営状況について若干の懸念がある」ことから、A評価とした。</p> <p>《委員会意見》 指定管理者業務における収支に関しては、本体収支、全体収支とも黒字のため問題ないと判断する。団体の財務状況については、現時点で問題があるわけではないが、収支規模に対して正味財産が少なく、長期的な目線で見ると若干の懸念があることから、今後の収支状況を見ていく必要がある。 なお、施設自体の財産目録などの資料も含め施設自体の財務状況全体が把握できると、よりよい評価が可能になると思われる。</p>

施設の収支概要		※直近3年間について記載 (千円)		
項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
収入 (a)	27,801	26,284	30,152	
指定管理料	17,870	17,870	21,139	
利用料金収入	7,078	7,172	7,920	
その他の収入	2,853	1,242	1,093	
支出 (b)	26,354	25,077	29,560	
人件費	21,797	21,653	22,949	
本社管理経費	0	0	0	
その他の支出	4,557	3,424	6,611	
本体事業収支 [(a)-(b)] (c)	1,447	1,207	592	
自主事業収入 (d)	138	198	203	
自主事業支出 (e)	39	39	39	
自主事業収支 [(d)-(e)] (f)	99	159	164	
全体収支 [(c)+(f)]	1,546	1,366	756	
備考				
団体の財務状況	団体本体の経営状況について若干の懸念がある。			

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックシートに基づき、指定管理者へのヒアリング及び現地確認により検査を実施した。
実施時期	2025年3月12日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	○
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	

9 指定管理者の自己評価

・成果指標である施設の貸館率は70%で目標値の78%は達成できなかったが、講座参加者における男女共同参画意識の高揚につながったと考える人の割合は85.1%で目標値を達成しており、前年度から引き続き高評価を得ることができました。

・講座参加者の満足度については、全体評価をはじめスタッフの対応と講師についても92.3%と高い評価であり、特にスタッフの対応については、参加者の会場への誘導や受付対応などが評価されているものと考えております。一方、環境についての項目が85.4%との評価であり、冷暖房の室温や会場の照明についてが主なマイナス要因になっています。

・講座については、市民ニーズにあったものを多数開催できたと考えております。特に、ソレイユフェスタでは、参加率が240%となった「講演会：古典落語の女性たち 自分らしく生きる林家つる子の挑戦」を開催し、アンコンシャスバイアスを払拭する大切さや新しい女性像など、楽しみながら考える講演会を開催することができました。

・市民企画講座については2団体から応募があり、3回開催しました。また、ソレイユマルシェ出店の作家が講師となり、市民向けワークショップを11回開催できました。大学生のインターンシップを受け入れ、長期間ともに活動しその集大成としてインターンシップ生が中心となってそれぞれの大学へ出前講座を実施、専門学校・外国籍の学生とSDGsの連携事業の実施など、管理運営コンセプトとした「ゲストからスタッフへ・参加から参画へ」の取り組みができたと考えております。

・あいの広場は、高校生など多くの若者が利用し「いつも利用させていただきありがとうございます」「良好な環境で勉強することができ志望校に合格しました」など感謝のコメントが寄せられています。若い方が当館を利用することにより、副次的に掲示物や展示コーナーなどで男女共同参画を知り意識の醸成が図られているものと考えております。

10 所管課意見

事業実施回数及び利用者数を前年度より増やしており、活動が活性化しているものとして評価する。また、男女共同参画意識の高揚につながったと考える人の割合の目標値を前指定管理期間から大幅に引き上げたにもかかわらず、初年度から達成したことは、講座の質や適切な施設運営に裏打ちされたものと評価する。貸館率の達成度は目標に届かなかったものの、前年より安定して利用者拡大を維持している。

上記のことから、施設運営は適切に行われているものと評価する。引き続き安定した施設運営の実施に期待する。

女性を取り巻く諸問題の解決及び男女共同参画の実現においては、「男性」へのアプローチが重要であり、引き続き工夫して取り組んでもらいたい。

高齢化に伴う登録団体の減少、若年層への啓発や活動への参加促進など、課題意識を持って取組をしていただきたい。

施設の経営状況については、黒字を維持しているが、団体の経営状況については資産の少なさが懸念である。

持続可能な事業の実施を見据え体制を整えていくため、引き続きニーズに応じた質の高い取組を進め、更なる活性化と収益増加に期待したい。

11 選考委員会意見

事業数や利用者数を増加させていることにおいて、十分な評価に値する。限られた予算と人員体制の中で、努力と工夫で満足度の高い事業を実施できていることについても同様である。

高齢層向けの講座の割合が多く見受けられるが、「若年層」や「男性」の講座参加や利用促進は課題であるので、引き続き取組を行って欲しい。登録団体の減少や連絡会への出席率の低さについても同様である。とりわけ若年層の取り込みには、インターンシップ生募集の周知やオンライン講座や配信等工夫をして欲しい。

団体の収支状況については、現時点で問題があるわけではないが、正味財産の少なさ、収支が安定していないことから、長期的に見ると若干の懸念があるため、今後も注視する必要がある。

総合評価（自動判定）

A

(70/100)

